

第 23 回議会報告会 報告書

地 域 名	口大屋地域		
年 月 日	令和 4 年 10 月 25 日 (火)	会 場 名	口大屋高齢者コミュニティセンター
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 00 分
参 加 数	男性 6 人	女性 1 人	合計 7 人
班 長	津崎 和男	司 会 者	津崎 和男
報 告 者	瀬原 敬樹、藤原 芳巳	書 記	瀬原 敬樹
班 員 名	津崎 和男、勝地 貞一、瀬原 敬樹、藤原 芳巳		
市 民		対 応	
報告に対する質疑	① 市営住宅の入居率はどのくらいか。	① 2022 年 9 月 1 日現在で 29 団地あり、66% の入居率である。	
	② 県営住宅 12 戸のうち 3 戸入居。募集停止しているが、今後の予定はどうか。	② 県営住宅の予定はわからない。	
	③ シルバー人材センターの意見書について	③ 令和 5 年 10 月に予定されているインボイス制度と同センターへの影響を説明した。	
市 民		対 応	
意見交換会での質疑	① 市内の空き家の件数とその対策はどうか。	① 市が把握しているのは約 1,300 件。実際はもっとある見込み。特定空家は 8 軒で撤去には補助金がある。空き家の利用では、毎年空き家バンクに登録する制度があり、令和 3 年度に空き家を購入したのは 19 件。	
	② 市は子育て支援に力を入れているが、人口や出生数はどうか。	② 人口も出生数も減っている。どこの市町も人口減少の状態、養父市だけ人口を増やすのは難しいが、皆さんとともに考えていきたい。	
	③ 朝来市と比べ市内には就職先が少ない。若者向けの企業誘致や移住定住、若者定住策はどうか。	③ 若者定住策は養父市も豊富だが近隣市町も頑張っている。移住者数は令和 3 年度 65 件 133 人で過去最高だった。由良の工場で 200 人規模の工場拡幅計画があり、市も市営住宅や宅地造成の計画を考えている。	

市 民	対 応
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">意見交換会での質疑</p> <p>④ 高齢化がさらに進展しているが、どのように対応していくのか。</p> <p>⑤ 免許返納後の高齢者の通院、買い物で、「やぶくる」は大屋町内だけであり、病院には行けない。路線バスは 150 円だが、便数も少なく買い物に不便。さらに支援をしてほしい。</p> <p>⑥ 集落内に若い人が少なく、日役も高齢者ばかり。コロナ禍で祭りなどの区の事業もできず、活気がない。</p> <p>⑦ 農業特区の成果はどうか。農業振興はどう考えているのか。</p> <p>⑧ 女性が集落で役員になることがほとんどなく、隣保長も男性がやっている。</p> <p>⑨ 旧八鹿文化会館の跡地の利用計画はあるのか。</p>	<p>④ 社会的処方、デジタルヘルシーエイジングなど新しい方策を医療機関や介護施設などで行う計画である。</p> <p>⑤ 最大 6 万円のタクシー半額助成制度も利用できるが、まだ周知が足りないようだ。 ※「やぶくる」は大屋地域及び関宮地域で利用できる。</p> <p>⑥ 高齢化の問題とともに若者定住も問題であり、なかなか解決策がない。皆さんとともに考えていきたい。</p> <p>⑦ 特区事業者が耕作放棄地の農地を取得している例もあり、担い手の役割を果たしている。また、特区事業者で雇用が 100 人ほど生まれているが、季節労働やパートが多い。 農業後継者や担い手確保への支援策もある。現在、「人・農地プラン」を集落ごと農地の筆ごとに、5 年・10 年後の将来計画として作成中である。</p> <p>⑧ 隣保長は男性で、副隣保長は女性としている地域や、輪番制で女性が受ける地域もある。</p> <p>⑨ 当初はプレハブの会議室の建設計画があったが、白紙となり現在は検討中である。</p>
<p>備考 なし</p>	

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和 4 年 11 月 10 日

報告者 2 班 班長 津崎 和男